

秋の科学技術講演会

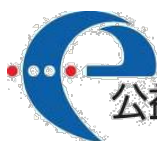
『“人工血液”研究の最前線』

《中央大学理工学部教授 小松晃之氏に聞く》

日本は世界最高レベルの献血・輸血システムを備えています、その高い技術をもってしても解決できない課題を抱えています。まず、血液の保存期間は3週間と短いため、大規模災害時に必要量の輸血液を確保できない危険性があります。我が国は世界有数の災害大国であり、大震災、台風・豪雨による河川氾濫や土砂災害、火山の噴火も多く、危機管理の主要施策として血液の確保は急務といえます。さらに少子高齢化が進むと安定した血液の備蓄が難しくなります。日本赤十字社の推計によれば、2027年には年間約89万人分の輸血液が不足すると予測されています。

今回は、先進医療分野で注目を集めている“人工血液”の最前線についてご講演頂き、日本の未来について考えてみましょう。

主 催：



公益社団法人 日本技術士会 栃木県支部

日 時：平成28年11月12日（土）14時～16時（受付：13時30分～）

会 場：宇都宮大学工学部アカデミーホール

費 用：会員・準会員1,000円、未入会技術士2,000円、一般無料

* CPD対応講演会です



講師経歴

昭和63年 早稲田大学 理工学部 応用化学卒

平成4年 早稲田大学院 応用化学専攻 博士課程後期終了 学位取得(博士(工学))

平成22年 早稲田大学 准教授を経て、中央大学 理工学部 教授

ご参加希望の方は下記事項記入の上、お申込みください。

(定員：220名様先着順。締切りは11月11日です。)

申 込 先 E-Mail: hirono-miyashita@ace.ocn.ne.jp 又は FAX: 028-638-8656 (栃木県支部宮下)

問合せ先 企画研修委員長 宮下まで (携帯電話: 090-5546-9809)

NO	氏 名	会社 or 団体名	役職等	技術士会 会員は○
1				
2				
3				
4				
5				
連絡先	代表者氏名:	TEL:	E-mail:	